

2014年11月11日

報道各位

ニューホライズン キャピタル株式会社

**世界最大級の留学拠点創設へ
PEファンドが国家戦略構想の道を切り開く**

投資ファンド運営のニューホライズン キャピタル株式会社（本社 東京都港区、取締役会長兼社長 安東泰志、以下「NHC」）は本日、日本の留学サポート事業を加速化させる目的で世界最大級の国際留学サポート運営組織であるiaeグローバル・グループ（拠点 香港、オーストラリアはじめグループ会社6社）の株式取得、並びに日本の株式会社ユニティップス（本社 東京都中野区、以下「UT」）の海外留学カウンセリング事業の事業譲渡を完了しました。これら事業を統合する持株会社iaeホールディングス株式会社（本社 東京都港区、代表取締役会長 スティーブン ギブズ、以下「iae」）が11月7日、スタートしました。海外留学生の増加が見込まれるアジア諸国の需要を取り込み、日本をハブとする国内外向け留学の国際ネットワーク拠点を構築して、安倍政権が打ち出した日本再興戦略（改訂）に盛り込まれた「国内外留学生の拡大を目指す」という政策を社会的見地から強力に支援して参ります。

世界の留学市場は、順調な増加を遂げています。国連ユネスコの調査によると2012年に400万人を超え、過去12年間の伸長は年平均5.7%の安定的な増加を示しています。しかしながら、これを留学生の出身国別に見てみますと、トップの中国の69.4万人を筆頭に、2位のインド（18.9万人）、そして韓国（12.3万人）と続き日本は22位の3.3万人。一方、受け入れ国別でも1位米国（74万人）、2位英国（42.7万人）、3位フランス（27.1万人）、4位オーストラリア（24.9万人）と続き、日本は7位（15万人）と低水準にとどまっており、経済規模の観点からもっと増やすべきとの声が聞かれます。

こうした状況の下で、世界に打ち勝つ真のグローバルな人材の育成を目的とした海外留学、そして優秀な外国人留学生の戦略的受け入れを促すための国内留学の受け入れ態勢の強化策が、成長戦略に不可欠との判断から2014年6月に安倍政権によって打ち出され、喫緊の課題として位置付けられました。

政府はすでに2015年度の予算に文部科学省が掲げる海外留学人口の倍化策（2020年までに大学等12万人、高校6万人へ）、外国人留学生の受け入れ策（2020年までに14万人から30万人へ倍化）を計上し具体的に動き始めています。

iaeグローバル・グループのバリューアップ策は、三段階で推進される計画です。第一段階はiaeグローバル・グループが有するインフラをベースに、このたび譲り受けたカリフォルニア大学など有力大学と太いパイプを保持するUT等と共にiaeホールディングス株式会社のもと、iaeグローバルジャパン株式会社をスタートさせることによって、日本における海外留学サポート業界を再編し日本市場の成長を促します。第二段階では、アジア市場の成長を取り込むために、iaeグローバル・グループが有する既存ネットワークをさらに拡大・増強して、留学生人口が増加中のインドネシア、サウジアラビア、インド、ネパール、ベトナム、タイ、中国、ミャンマー等にM&A等により投資を行う方針です。第三段階では、日本を含め海外留学生を受け入れるオーストラリアのブリスベン、メルボルン、パース、ゴールドコースト、カナダのバンクーバーなどのフランチャイズ拠点を強化して、グローバル市場における確固たる国際的地位を構築する計画です。

こうした取り組みについては、単純に規模の追求のみで成果が達成できるものではありません。内外の留学市場を発展させて行くためには、単純な短期の語学留学から目的とするグローバルな知見を習得するための長期の大学留学まで自由に選択できる制度の構築、学生のカウンセラーの高度化が必要であり、さらに、財務体質を強化して、業界そのものをより健全にすることも使命だと認識しております。iaeは海外留学に関するノウハウとIT技術、そして世界の教育機関との間に築いてきた契約や太い人的ネットワークを駆使して、日本において世界最大級の国際的なインフラを構築していく計画です。この結果、2020年までに日本からの海外留学を現在の1000名規模から3万人規模に、またグローバルでは、現在の2万人規模から8~10万人規模に拡大したい考えです。

NHC会長兼社長の安東泰志は、本事案について「内外留学事業は日本がこれから世界で、勝ち進んでいくためのグローバルな人材育成を目的とした重要な国家戦略のテーマです。PEファンドの新しい社会的使命として、今回の投資案件により日本の教育・留学事業を成長支援できることを誇りに思っています」と抱負を述べています。

この件に関する問い合わせ先：

NHC 広報担当 (IFC) 竹江、連絡先：03-5532-8921

ニューホライズン キャピタル株式会社

産業再編、成長支援、事業再生のプロを多数擁する独立系企業再生 (PE) ファンド。02 年 2 月に創業した前身のフェニックス・キャピタル時代から06 年10 月の会社分割を経て通算12 年超の実績 (独立系ファンドとしては最大規模の累積運用資産総額2,300 億円超) を背景に、NHC として2 本目、創業から8 本目のファンドを運営しています。02 年以来、すべてのファンドの創設時にキーマン (主運用責任者) をつとめてきた安東泰志をはじめとするNHC のチームメンバーは、三菱自動車をはじめ、ティアック、東急建設、不動建設、

世紀東急建設、市田、ツムラ、ハウステックなど、公表されているエクイティ投資先だけで30件、その他を含めて約90件以上という日本随一の企業再生・再編投資実績を有しています。

iaeグローバル・グループ

1992年に韓国で設立され、中国、香港、インド、インドネシア、ミャンマー、ネパール、サウジアラビア、台湾などの中核的国際リクルートメント市場に約50の支店あるいはジョイント・ベンチャーによるパートナーオフィスを持ち、オーストラリア、カナダ、ニュージーランド、英国、米国に主要オフィスを開設しています。1998年から業界での最先端のシステム投資を行い、世界的にも継続性の高いビジネスモデルを構築した。現在では年間2万人を超える留学生を約711の教育機関とのネットワークによって支援しています。なお、iaeグローバル・グループの親会社であった Eduhouse Inc（本社 韓国ソウル市、代表 キム オク ジュング）が iae ホールディングス株式会社の約32%を保有し、NHCと共に事業を推進して参ります。

以上